

バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 バイオマス活用協議会会長賞)

近畿

- ・応募主体 **滋賀県甲賀市**
- ・都道府県・市町村 **滋賀県甲賀市**
- ・取組分野 **堆肥化・BDF等燃料**

取組概要

家庭生ごみを回収し、刈草・剪定枝とともに堆肥化し、家庭菜園等の肥料としてもらう体制を整備。家庭廃食用油を回収し、BDF燃料としてごみ収集車に利用。

堆肥化事業に参加申し込みした各家庭が生ごみ処理容器（密閉式ポリバケツ）を購入、市から配布された種堆肥（生ごみ堆肥 8 L 入り）を生ごみ処理容器の底に 2 cm 程度入れ、その上に 1 日分の家庭生ごみを投入し、毎日種堆肥を 1 cm 程度かぶせる作業を行い、種堆肥と生ゴミをサンドイッチ状にし、収集日（週 2 回）にサンドイッチ状生ごみを各ごみステーションに容器ごと持って行き、回収ボックスに中身を投入。

市は回収生ごみをリサイクルセンターの第一次発酵施設に投入、乾燥・破碎した刈草・剪定枝を加え、1 日 1 回の攪拌及び水分調整を行い、15 日間発酵させる。次に、二次発酵施設（ストックヤード）で 1 週間ごとに切り返しを行い 6 週間かけて発酵させ、各家庭に配布する種堆肥を生産。種堆肥は選別機にかけ混入物を取り除き袋詰め。

市は袋詰めした種堆肥を各ごみステーションに配布（週 1 回）。ごみステーションに配布された種堆肥を持ち帰り各家庭でまた種堆肥として利用。余剰堆肥は家庭菜園やプランター等に堆肥としても良く、人気があるため、生産堆肥は全て各家庭に持ち帰られており、余剰堆肥がごみステーションに溜まっていくことはない。

以上の仕組みにより、余剰堆肥の処分に窮することなく、家庭生ゴミの各家庭における堆肥化・利用を促進。

また、各家庭の廃食用油を市が回収し、BDF 燃料化し、ゴミ回収車の燃料として使用している。

「生ごみ堆肥化循環システム」

